

電気フライヤー 取扱説明書

製番

型式 EF-3, 3L, 5, 5L, 5LW, 11, 11L
EF-19, 19L, 28

お客様ご相談窓口



適温を追求する

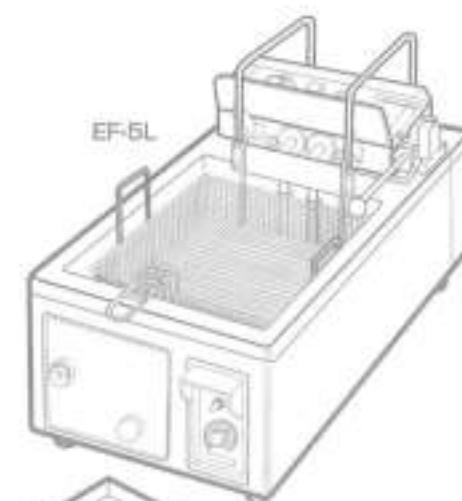
エイシン電機株式会社

● 本社

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町2-39-3
TEL (045) 332-3270(代表) FAX (045) 331-6950

このたびは、電気フライヤーをお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、製番又は型式EF-3,3L,5,5L,5LW,11,11L,19,19L,28を同時に記載しておりますので、お客様がお買い上げになられた製番又は型式をご確認の上、ご使用前にこの「取扱説明書」と添付の「保証書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は保証書とともに大切に保管してください。



目次

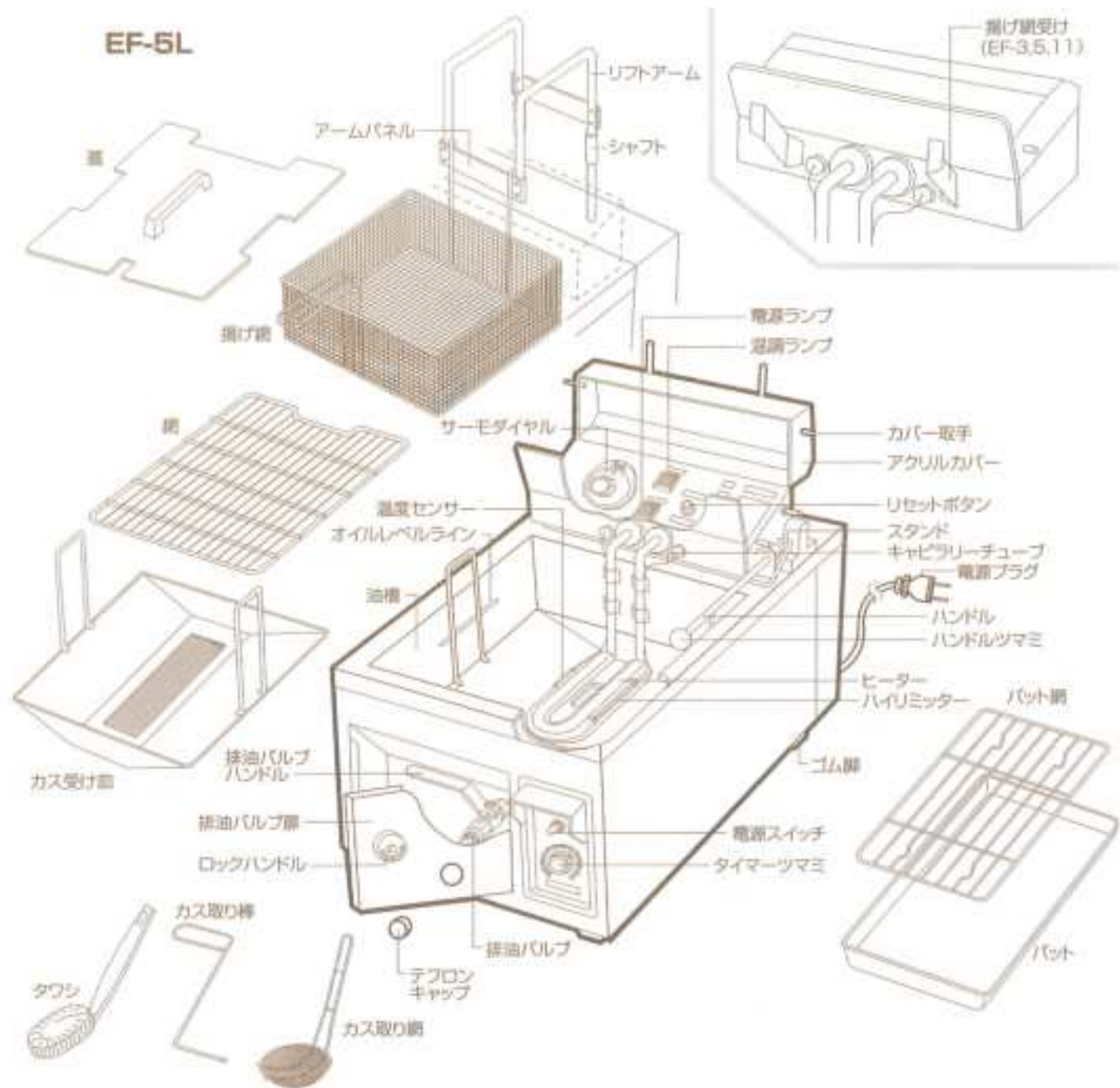
- 各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・ 1,2
- 安全上のご注意・・・・・・・・・・ 3~5
- ご使用前に・・・・・・・・・・ 6
- ご使用方法・・・・・・・・・・ 7
- ご使用後およびお手入れの仕方・・ 8,9
- ヒータースイングアップおよびダウンの方法・ 10
- このようなときには・・・・・・・・・・ 11
- 修理を以てされる前に・・・・・・・・・・ 11
- 仕様・・・・・・・・・・ 12
- アフターサービスについて・・・・・・・・ 13



適温を追求する

エイシン電機株式会社

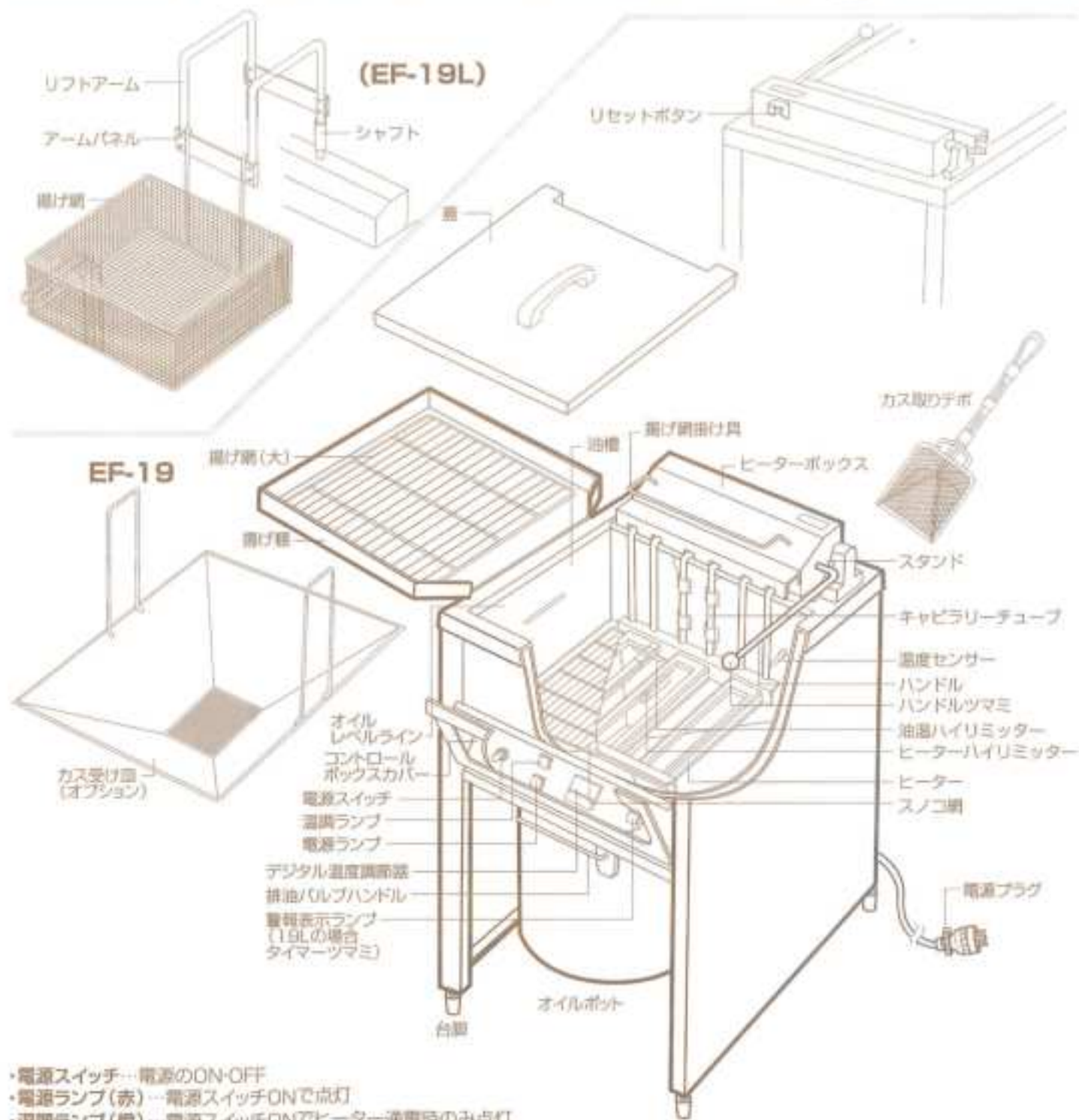
各部の名称とはたらき①



- ・電源スイッチ…電源のON-OFF
- ・電源ランプ(赤)…電源スイッチONで点灯
- ・点検ランプ(橙)…電源スイッチONでヒーター通電時のみ点灯
- ・サーモダイヤル…油温の調節(通常使用油温140℃~180℃)
- ・タイマーツマミ…EF-3L, 5L, 5LW, 11Lのみ食品の揚げ時間設定(タイマー設定時間終了によりリフトアームが自動的に上昇)
- ・排油バルブ…油槽の油を排油(油温を下げてから)
- ・排油バルブハンドル…排油バルブの開閉(排油受容器をセットしてください)
- ・テフロンキャップ…排油を行う時のみ外してください(ネジ式)
- ・ロックハンドル…排油バルブを開ける時はボタンを押す
- ・オイルレベルライン…油量はここまで、これ以上は危険
- ・温度センサー…油温の温度感知
- ・ハイリミッター…油温およびヒーターの過熱温度上昇により電源OFF(電源ランプは点灯してあります。)
- ・リセットボタン…ハイリミッターが動作して電源OFFされた場合の再起動ボタン(再起動の場合、一旦電源スイッチをOFFし異常がないかどうか確認の上リセットボタンを押してください)

- ・ハンドル…作業終了後のヒーターのスイングアップ(上昇)用ハンドル。この時にはヒーターの通電は自動的にOFF
- ・スタンド…ヒーターのスイングアップ(上昇)状態を固定させます。(スタンドが確実にたてられてから手を離してください)再びヒーターを降ろす時はスタンドを手前に引いて解除してください。(油が熱い時はヒーター昇降は行わないでください。)
- ・リフトアーム…EF-3L, 5L, 5LW, 11Lのみタイマー設定が終了により自動的に上昇(ヒーターのスイングアップはリフトアームを外して行ってください)
- ・シャフト…リフトアームを外すときここから外します。(EL-3L, 5L, 5LW, 11L)
- ・カス受け皿(オプション)…作業中の食品カスを受けます。終了後必ず清掃してください。
- ・揚げ網…EF-3L, 5L, 5LW, 11Lのみアームパネルに掛けてください(EL-3, 5, 11は揚げ網受けに掛けてください。)
- ・カス取り棒…作業終了後、機器が十分冷えてからバルブの排油口の掃除にご使用ください。
- ・蓋…作業終了後、油槽へのゴミ、汚れ等の防止をしてください。
- ・網…ヒーターの上に架けて使う
- ・ヒーター…油の加熱用

各部の名称とはたらき②





- ・電源スイッチ…電源のON-OFF
- ・電源ランプ(赤)…電源スイッチONで点灯
- ・点検ランプ(橙)…電源スイッチONでヒーター通電時のみ点灯
- ・デジタル温度調節器…油温の温度設定と現在温度表示(切換式)
- ・警告表示ランプ(白)…油温又はヒーターの過熱の温度上昇により油温ハイリミッター又はヒーターハイリミッターが動作、ブザーが鳴って警告表示ランプ(白)が点灯します(EF-19, 28)。一旦電源スイッチをOFF後、異常がない事を確認できたらヒーターボックス裏側のリセットボタンを押して再運転してください。
- ・排油バルブハンドル…作業終了後、油の温度を下げてから排油してください。
- ・リフトアーム…EF-19Lのみ
- ・シャフト…リフトアームを外すときここから外します。(EF-19Lのみ)
- ・カス受け皿(オプション)…作業中の食品カスを受けます。終了後必ず清掃してください。
- ・揚げ網(オプション)…アームパネルに引掛ける(EF-19, 28は揚げ網受け具に固定)
- ・揚げ網(大)
- ・揚げ網…揚げた食品の油きり
- ・オイルポット…排油受容器
- ・蓋…作業終了後、油槽のゴミ、汚れ防止してください。
- ・油温ハイリミッター…油温の過熱温度感知
- ・ヒーターハイリミッター…ヒーターの過熱温度感知
- ・リセットボタン…警告表示ランプの項目参照
- ・ハンドル…作業終了後のヒーターのスイングアップ(上昇)用ハンドル。この時にはヒーターの通電は自動的にOFF
- ・スタンド…ヒーターのスイングアップ(上昇)状態を固定させます。(スタンドが確実にたてられてから手を離してください)再びヒーターを降ろす時はスタンドを手前に引いて解除してください。

安全上のご注意①

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。ここに示した注意事項は、電気フライヤーを安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その内容により、「警告」と「注意」に区分してあります。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の意味は次のようになっております。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しております。

図記号の意味

 「警告」や「注意」を促す事項を表します。  「禁止」を表します。  必ず行う事を表します。

警告

製品の据え付けは専門業者に

据え付けは販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ、不備があると感電、火災原因になります。



製品の据え付けは専門業者に

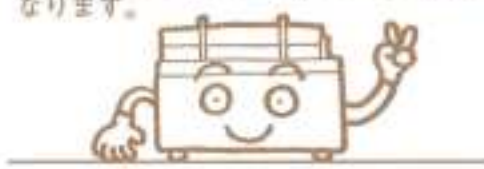


丈夫な床に水平に据え付ける

床面が丈夫で平らなところに水平になるよう確実に据え付けてください。据え付けに不備があると、油漏れ、落下、転倒によるケガ、ヤケド、火災の原因になります。



水平に据え付け



屋外設置禁止

屋外で使用しないでください。雨水がかかる場所でご使用になりますと油のとび散り、漏電、感電の原因となります。



禁止



アース工事を確実にを行う

アース工事を確実に行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者による第三种接地工事が必要です)。



アースをする



電源コード・プラグ



専用コンセントの使用

電源は専用コンセントを使用してください。電源コードを途中で接続したり延長コードやタコ足配線をすると、感電や発熱、火災の原因になります。

漏電しゃ断器をつける



漏電しゃ断器をつける

漏電しゃ断器を取り付けてください。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



安全上のご注意②

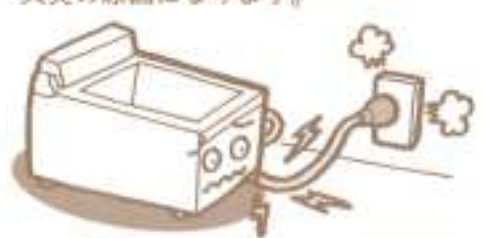
警告

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり引っ張ったり、束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止



漏電しゃ断器が作動したときは



専門業者に確認を

屋内の漏電しゃ断器が作動したときは販売店または専門業者にご相談ください。無理な電源の復帰をすると感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触らない



禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたりスイッチの操作をしないでください。感電の原因になります。



分解禁止



分解禁止

修理技術者、専門業者以外の方は絶対に、分解したり修理や改造を行わないでください。修理に不備があるとやけどや感電、火災の原因になります。

異常時には運転を停止する



電源プラグを抜く

油が異常に熱く感じたり、油から煙が出たり、焦げ臭いにおいがしたりとか普段と何か異常を感じたら、電源プラグを抜くか、元電源を切って運転を停止してください。異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



電気の通電中や調理中は機器のそばから絶対に離れない



機器から離れない

電気の通電中は、サーモスタットなどの異常により、感電、発火、火災などの恐れがあります。通電中及び調理中は機器から離れないでください。

定格電圧以外で使用しない



禁止

定格電圧は各製品に貼付してある銘板と本取扱い説明書の「仕様欄」に型式毎に記載されております。ご確認の上ご使用ください。表示以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になります。

電源プラグの定期確認



定期確認

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着して接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

引火性・加熱性スプレー使用禁止



禁止

可燃性スプレーを近くで使用したり可燃物を置かないでください。スイッチの火花などで引火して、発火の原因になることがあります。



熱い部分に触れない



禁止

通電中や作業終了直後は、油槽の中の油や、ヒーター及び周辺部に触れないでください。高熱になっておりますので注意してください。やけどの原因になります。

安全上のご注意③

警告

通電中や油槽の油が熱いうちにヒーターの昇降及び排油を行わないでください

通電中や油槽の油が熱いうちのヒーター昇降、及び排油は非常に危険です。絶対に行わないでください。やけどの原因となります。



禁止



水のとび散る近くでの使用や製品に直接水をかけない

水のとび散る近くでの使用や、製品に直接水をかけて掃除しないでください。感電、漏電の原因となったり、高温の油中に水分が混入すると水分がとび散ったりしてやけどやけがの原因となります。



禁止



電気フライヤーとして使う



目的にあった使い方

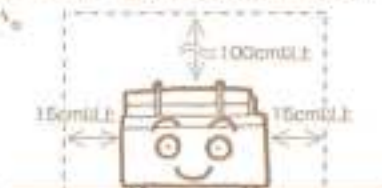
電気フライヤーとして使用してください。目的以外に使用すると、異常動作して発火やけがの原因になることがあります。

据え付けは可燃物との距離を確実に離す、防火措置をする



周囲から空ける
防火措置をする

据え付けは周囲15cm以上、天面から100cm以上必ず空けてください。又使用中発生する、長時間使用で油分が周囲に付着し火災の原因になりますので周囲、天井、床には防火措置をしてください。



長期間ご使用にならない時は



電源プラグを抜く

長期間ご使用にならない時は機器のゴミ、ホコリを充分拭き取り、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

漏電しゃ断器の定期動作確認



定期動作確認

屋内の漏電しゃ断器は定期的に動作確認をしてください。漏電しゃ断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



電源プラグを持って抜く



電源プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して、発熱、火災の原因となります。



清掃は電源を切って、油温を下げ、排油してから行う



電源プラグを抜く
油温を下げ
排油してから

製品を清掃するときは電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、油槽の油温が下がったら排油した後行ってください。

フライ中はとび散る油に気をつける



とび散る油に気をつける

油がとび散って、やけどの原因になることがあります。十分気をつけてください。

ご使用の前に

・ご使用前によく下の項目について、確認および準備してください。

項目	型式	EF-3,3L,5,5L,5LW,11,11L	EF-19,19L,28
排油バルブの閉り確認		<ul style="list-style-type: none"> 製品前面、テフロンキャップを外す ロックハンドルを押し扉を開ける 排油バルブの開確認 	<p>・排油バルブの開確認</p>
附属品の装着		<ul style="list-style-type: none"> ヒーターを上げてカス受皿をヒーターの下になるよう装着 ヒーターを下げて網をヒーターの上に置く (3L,5L,5LW,11Lはリフトアームを)シャフトに組み付けてください 	<ul style="list-style-type: none"> ヒーターを上げてカス受皿(オプション)をヒーターの下になるよう装着 ヒーターを下げてスノコ網をヒーターの上に置く 揚げ網と油切り網を本体の側面に取り付ける (19Lはリフトアームをシャフトに組み付けてください)
電源スイッチ サーモダイヤル		OFFになっている事を確認	OFFになっている事を確認
油を注ぐ		油槽側面の油面ラインまで注ぐ 	油槽側面の油面ラインまで注ぐ
		※(ご注意) 油を注ぐ前に必ず油槽とその周辺に水分がない事を確認してください。	
タイマー設定		型式EF-3L,5L,5LW,11L タイマーツマミは0の位置に設定	型式EF-19L タイマーツマミは0の位置に設定
ヒーターは必ず下げて		ヒーターは必ず下げて油の中に入るようセットしてください	

ご使用方法

電源プラグを専用コンセントに差し込み、以下の順序でご使用ください

項目	製番又は型式 (製番) (型式) EF-3,3L,5,5L,5LW,11,11L	(製番) (型式) EF-19,19L,28
スイッチパネル		
コントロールパネル		
温度設定の方法	<p>・電源スイッチをONにする。 [電源ランプ(赤)が点灯します]</p> <p>・サーモダイヤルを0からご希望の温度(例: 180℃)に設定してください[温調ランプ(橙)が点灯します・・・ヒーター通電時点灯]。 油温が設定温度まで達すると温調ランプが消灯し、ご希望の温度に達した事を示します。</p> <p>・型式EF-3L,5L,5LW,11Lは温調ランプが消灯し、ご希望の油温に達したら、アームパネルに揚げ網を掛けてください。(EF-3,5,11は揚げ網受けに掛ける)</p> <p>・型式EF-3L,5L,5LW,11Lはタイマーツマミを設定の時間に合わせますと、リフターが自動的に油槽に降り、フライが始まります。設定時間が経過すると、リフターが自動的に上昇しフライが終了します。(この時タイマーは自動的に0に戻ります)タイマーは50Hzと60Hzの目盛が各々別になっております。ご注意ください。</p> <p>・電源スイッチがONになっていても、油が加熱されない場合はハイリミッターが動作して電源をシャ断しております。(電源ランプは点灯)一旦電源スイッチをOFF後再びONしてリセットボタンを押して復帰させてください。</p>	<p>・電源スイッチをONにします。 [電源表示灯(赤)が点灯します] (デジタル温調に現在温度表示)</p> <p>・デジタル温調の左端ボタン①を押します(SPランプ点灯)、デジタルが設定温度表示に変わります。</p> <p>・③ボタン(△)を押すと温度上昇</p> <p>・②ボタン(▽)を押すと温度下降</p> <p>どちらかに設定出来たら</p> <p>・①ボタン(◁)を押して現在温度にし、設定完了です。 (①ボタン(◁)を押す毎に [現在温度]と表示が変わります。)</p> <p>・温調ランプ(橙)が消灯したらご希望の温度です。フライを始めてください。</p> <p>ご使用中警告表示ランプ(白)が点灯しブザーが鳴りましたら「油温ハイリミッター」又は「ヒーターハイリミッター」が作動し、電源をシャ断します。(電源ランプ消灯、19Lはブザーのみ)一旦電源スイッチをOFF後、再びONしてヒーターボックス裏側にあるリセットボタンを押して復帰させてください。それでもヒーターが加熱されない場合はどこか異常ですので「アフターサービスについて」のページにもとづいてご連絡ください。(19Lの警告ランプはありませんが電源が入らない場合はリセットボタンを押してください。)</p> <p>・型式EF-19Lはタイマーツマミを設定の時間に合わせますと、リフターが自動的に油槽に降り、フライが始まります。設定時間が経過すると、リフターが自動的に上昇しフライが終了します。(この時タイマーは自動的に0に戻ります)タイマーは50Hzと60Hzの目盛が各々別になっております。ご注意ください。</p>

ご使用後およびお手入れの仕方①

作業終了後は下記の順序で製品の安全対策とお手入れを行ってください

順序	項目	製番又は型式 (製番) (型式) EF-3,5,11	(製番) (型式) EF-3L, 5L,5LW,11L	(製番) (型式) EF-19,28	(製番) (型式) EF-19L
1	サーモダイヤルを0に戻す	○	○	—	—
2	電源スイッチをOFFする	○	○	○ (一度設定した温度は消去されません)	○ (一度設定した温度は消去されません)
3	電源プラグをコンセントから抜く	○ (直付けの場合 ブレーカーOFF)	○ (直付けの場合 ブレーカーOFF)	○ (直付けの場合 ブレーカーOFF)	○ (直付けの場合 ブレーカーOFF)
4	油槽内の排油 (注意) 排油は油温がある程度下がった状態(めやす50~60℃)で油が硬化又は固化する前に、やけどに十分注意しながら行ってください ・油受け容器を排油バルブの排油口に置いてください ・排油用扉のテフロンキャップを外し、ロックハンドルを押して扉を開けてください ・排油バルブを開いて、やけどなどに注意してゆっくり開けて、排油してください	○	○	○	○
5	・排油が完了し、油槽内が十分冷えてから、網を取り出してください ・リフトアームをシャフトから抜いてください ・右端のハンドルを持ってヒーターを上昇(スイングアップ)してください(スタンドでしっかり固定されたことを確認してください)・固定が不十分ですとヒーターが落ちたりして危険です・・・ヒーターを上昇(スイングアップ)する場合は電源がOFFになっている事を確かめてから行ってください。尚EF-3L,5L,5LW,11L,19Lはリフトアームが上昇している時のみスイングアップ可能です ※ヒーターのスイングアップおよびダウンの方法については別図(ヒータースイングアップおよびダウンの方法)でごらんください ・カス受皿を取り出してください	○	○ (リフトアームを抜かないヒーターのスイングアップができません)	○	○
6	油槽の清掃および製品全体の清掃 ・油槽内に残った食品カス、油を十分取り除いてください。 ・ペーパータオル等で油槽内および製品に付着した油を取り除いてください。 ・ヒーター表面は特に高温のため、油および食品が焦げつくことがあり、性能にも影響しますのでていねいに焦げ、油などは付着したものを除去してください。しつこい付着物は中性洗剤などで除去して、その後拭きとってください。 (この際、サーモスタット、ハイリミッターは、ていねいに扱い位置を移動したりしないでください。またキャビラリチューブは細くて折れ易いので十分注意してください) ・落ちにくい汚れ、油は中性洗剤を含んだ布で拭いてください。	○	○	○ (オプション)	○

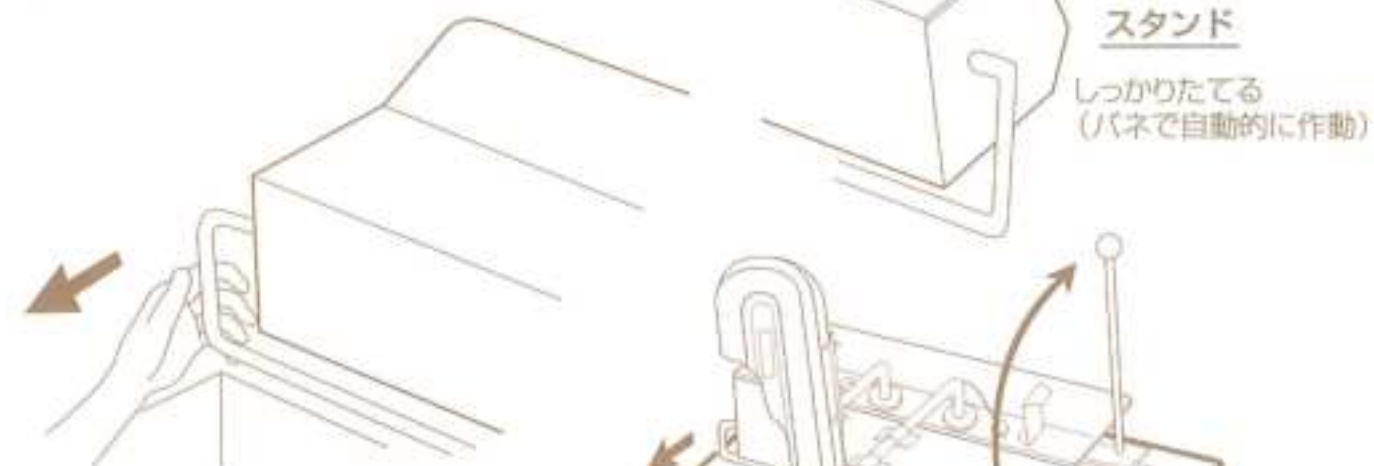
ご使用後およびお手入れの仕方②

順序	項 目	製番又は型式			
		(製番) (型式) EF-3,5,11	(製番) (型式) EF-3L, 5L,5LW,11L	(製番) (型式) EF-19,28	(製番) (型式) EF-19L
6	洗剤分は清水できれいに、拭きとった後、乾いたペーパータオル又は布で十分水分を除去してください (この際コントロールパネル、スイッチパネルなどの電気部品に水が入らないよう注意しながら行ってください) ・油槽の排油口およびバルブの出入口には食品カス等が詰まることがありますので、付属の「かす取り棒」で除去してください ・コントロールパネル部、およびアクリルカバー(EF-19,19L,28はアクリルカバーなし)についた油、ゴミは中性洗剤等で拭きとり、清水を含んだ布で拭いた後乾いた布でもう1度拭きとってください。(水洗いや、水分の多い布での洗浄はしないでください) ・次回使用のために、水分を残さないよう注意してください	○	○	(かす取り棒は 付属せず)	(かす取り棒は 付属せず)
7	スイングアップしたヒーターは元に戻してください	○	○	○	○
8	リフター部のお手入れ リフター部の主軸、アームについた油、ゴミは清掃の都度取り除いてください	—	○	—	○
9	清掃後はホコリやゴミが油槽内に入らないよう蓋をしてください	○	○	○ (オプション)	○ (オプション)
10	・揚げ網は目詰まりすることがありますので、中性洗剤で洗浄して、乾燥してください ・その他の付属品・・・カス受け皿、網、カス取棒、カス取りテボ、オイルポット(EF-19,19L,28)、バット、バット網(EF-3,3L,5,5L,5LW,8)、タワシなど付属品も作業終了後、中性洗剤で洗浄し、乾燥してください	○	○	○	○
11	揚げ網、油きり網は取り外して中性洗剤で洗浄した後、水分を乾いた布で拭きとるか乾燥してください	—	—	○	○
12	ステンレスのお手入れ 酸、塩分、汚れなどがついたままになっていたり、汚れた品物が直接触れていたたり、さらに赤サビが表面についていると錆びやすくなります。錆びの原因となる汚れは中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を浸した布で拭きとり、更に乾いた布で水分を拭きとってください。 	○	○	○	○

ヒータースイングアップおよびダウンの方法

スタンドの解除 (ヒータースイングダウン)

(右手でハンドルを持ちながら
左手で手前に静かに引く)



スタンド

しっかりたてる
(バネで自動的に作動)

- 1 電源スイッチがOFFになっている事を確認してください。
- 2 ヒーターが十分冷えているか確認してください。
- 3 EL-3L,5L,5LW,11L,19Lはリフトアームをシャフトから外してください。

- 4 **スイングアップ** ヒーターを上げるときは製品右側のハンドル(丸い樹脂部ハンドルつまみをお持ちください。棒部は熱せられていて危険です。)をしっかり持って上げてください。この時スタンドが自動的に固定されヒーターが落下するのを防ぎます。確実に固定されるまで上げてください。

(もし通電中でもヒーターをスイングアップすると、コントロールパネルの中に組み込まれたスイッチにより、自動的に通電はOFFされます。)

- 5 **スイングダウン**
ヒーターを下げる時はハンドルを右手でしっかり持って左手のゆびでスタンドの左端を静かに手前にひいてください。スタンドがコントロールパネルから外れて、ヒーターが下げられます。この時ヒーターが顔などに接触しないよう注意してください。接触するとヤケド、ケガなどする場合があります。

ヒーター
スイングアップ (上昇)



スタンドがしっかり固定されるのを確認してから手を離す

このようなときには

停電したとき

- サーモダイヤルを戻し、(EF-19,19L,28を除く)、電源スイッチをOFFにしてください。
- 停電が長びくような場合には、ご使用後およびお手入れの仕方の順序に従って油槽の油を抜いてください。(常温で固化する油の場合には、特に必要です)
- 停電が解除されて運転を再開される場合には、ご使用方法の順序に従ってください。

長期間お使いにならないとき

- 長期間お使いにならない場合には、サーモダイヤルを戻し、(EF-19,19L,28を除く)電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜き、ご使用後およびお手入れの仕方の手順に従って、排油、清掃を行い油槽には蓋をして、ホコリ・ゴミなどが入らないようにしてください。

修理を依頼される前に

ご使用中に万一調子が悪くなった場合は、次のことをお調べになってから、お買い上げの販売店またはエイシン電機株式会社本社、またはお近くの営業所にご連絡ください。

症状	原因と考えられること
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 停電していませんか？ 電源スイッチがOFFになっていませんか？ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 電源ランプ（赤）が点灯していますか？ お店の電源ヒューズや配線用遮断器が切れていませんか？ 電路にある漏電しゃ断器がOFFになっていませんか？ 屋内のコンセントが痛んで、電源プラグを差し込んでもゆるくガタガタになっていませんか？ ※注意 この場合電源プラグから発熱、発火の恐れあり。使用をやめて、別のしっかりした場所のコンセントを利用してください。
油温が上昇しない	<ul style="list-style-type: none"> サーモスタート又はデジタル電子温度計 (EF-19,19L,28のみ) の温度設定は適切ですか？ サーモスタート又はデジタル電子温度計 (EF-19,19L,28のみ) の故障の可能性があります。 電源ランプ（赤）が点灯しているのに、油温が上昇しない。 型式 EF-3,3L,5,5L,5LW,6,11,11Lはコントロールパネルに赤色のリセットボタンがあります。これを押してみても運転が開始されかどうかの様子を見てください。(19,19L,28はヒーターボックスの背面にあります) ヒーターが上昇 (スイングアップ) されたままになっておりませんか？ 屋内のコンセントが痛んで、電源プラグを差し込んでもゆるくガタガタになっていませんか？ ※注意 この場合電源プラグから発熱、発火の恐れあり。使用をやめて、別のしっかりした場所のコンセントを利用してください。
油温が熱すぎて熱が出ている	<ul style="list-style-type: none"> サーモスタートダイヤル又はデジタル電子温度計 (EF-19,19L,28) の温度設定は適切ですか？ (油の種類によって多少異なりますが約230℃を越すと、発煙現象が起きます。…これ以上運転を続けると危険ですので、サーモダイヤル又はデジタル電子温度計の設定を至急下げか、又は電源スイッチをOFFしてください。) サーモスタート又はデジタル電子温度計又はハイリミッター又はリレーの故障が考えられます。至急電源スイッチをOFFしてください。
ブザーが鳴る 警告表示ランプが点灯する 電源ランプも点灯している	<ul style="list-style-type: none"> EF-19,28には警告表示ランプがあります。(19Lはブザーのみ) 油温ハイリミッター又はヒーターハイリミッターが作動しますと、電源を遮断し、警告表示ランプを点灯し、ブザーを鳴らします。(電源ランプは点灯している。) 一旦電源スイッチをOFF後、再びONしてヒーターボックス裏面にあるリセットボタンを押して下さい。

…以上をお確かめください。

仕様

製品又は型式 外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	EF-3	EF-3L	EF-5	EF-5L	EF-5LW	EF-11	EF-11L	EF-19	EF-19L	EF-28	消費電力 (kW)	油温 (℃)	電源スイッチ (ヒーター表示) (サーモスタート)	電源		材質 (本体)
														電圧	電流	
200×420×220	300×420×220	300×470×220	300×540×220	500×540×220	550×470×220	550×540×220	450×620×800	500×620×800	680×620×800		1.3	3	有	有 (赤)	有 (橙)	ステンレス鋼板
300×460×220	300×470×220	300×540×220	500×540×220	550×470×220	550×540×220	450×620×800	500×620×800	680×620×800		AC 1φ 100V	3	5	有	有 (赤)	有 (橙)	
										AC 1φ 200V	5	10	有	有 (赤)	有 (橙)	
										AC 1φ 200V	3.4	11	有	有 (赤)	有 (橙)	
										AC 3φ 200V	6	19	有	有 (赤)	有 (橙)	
										電子サーモダイヤル表示 (50℃~200℃)	6.2	19	有	有 (赤)	有 (橙)	
										電子サーモダイヤル表示 (50℃~200℃)	10	28	有	有 (赤)	有 (橙)	
適合コンセント	11	13	14	16	32	22	25	38	40	60						
製品重量 (kg)	11	13	14	16	32	22	25	38	40	60						
付属品	かす受皿 網 バット バット網 蓋 かす取り棒 かす取り網 タワシ	かす受皿 網 バット バット網 蓋 かす取り棒 かす取り網 タワシ	かす受皿 網 バット バット網 蓋 かす取り棒 かす取り網 タワシ	かす受皿 網 バット バット網 蓋 かす取り棒 かす取り網 タワシ	かす受皿 2個 網 バット 2個 バット網 蓋 かす取り棒 かす取り網 タワシ	かす受皿 網 バット バット網 蓋 かす取り棒 かす取り網 タワシ	かす受皿 網 バット 2個 バット網 蓋 かす取り棒 かす取り網 タワシ	揚げ網 油きり網 かす取り棒 オイルポット 燃受け金具 油こし網	揚げ網 油きり網 かす取り棒 オイルポット 燃受け金具 油こし網	揚げ網 油きり網 かす取り棒 オイルポット 燃受け金具 油こし網						
オプション	揚げ網	—	揚げ網	—	—	揚げ網	—	揚げ網	揚げ網	揚げ網						
接続	2P15A ストット	—	揚げ網	—	—	揚げ網	—	揚げ網	揚げ網	揚げ網						
	11	13	14	16	32	22	25	38	40	60						

アフターサービスについて

- 1. 保証について**..... 保証書を別途添付しております。保証書は記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 2. 保証期間中の修理**..... 保証書に記載のとおり、保証期間を設け、その記載内容により、お買い上げ販売店が修理します。
- 3. 保証期間後の修理**..... 保証期間後の修理については、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望によって有料修理いたします。お買い上げ販売店にご相談ください。
- 4. ご不明な場合**..... アフターサービスについてご不明な場合はお買い上げ販売店又はエイシン電機株式会社本社又は営業所にお問い合わせください。
- 5. 修理を依頼される場合は
次のことをお調べの上、
お知らせください**
 - ・製品の型式又は製造番号
 - ・故障の状況
 - ・お買い上げ日
 - ・お客様の住所、電話番号
 - ・訪問ご希望日